

## 工事契約など53件可決

### 海の少年自然の家に着手



#### 助役に小林實氏

田鍋秀則助役は、六月三十日をもって任期満了のため退任し、新たに小林實氏が、七月五日の本会議で選任を同意され、同日付で助役に就任しました。

#### 決まった主なもの

#### 市長提出

- ◎北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正  
湯川公民館（小倉南区）、南丘東集会所教育施設（小倉北区）、畑キヤンプセンター（八幡西区）、西戸畑児童プール（戸畑区）の新設と、西戸畑児童プールの使用料を定めるもの

#### 議員提出

- ◎石炭関係諸法の強化延長等に関する意見書  
今なお鉱害復旧をはじめ多くの問題をかかえている産炭地域の振興を図るため、石炭関係諸法の強化延長等を、政府に対して要請するもの
- ◎公共施設におけるリンを含む化成洗剤の使用禁止等に関する意見書  
学校や病院等の公共施設をはじめ、各種施設におけるリンを含む化成洗剤の使用禁止や、消費者に対する正しい知識の普及などの適切な措置を、政府に対して要請するもの

#### 太刀浦の埋立てを促進

昭和五十五年六月北九州市議会定例会は、六月三十日から六日間の会期で開かれ、七月五日に終わりました。

今議会に市長から提出された議案は、専決処分報告十三件、条例の一部改正六件、工事請負契約の締結など三十件と、最終日の本会議に追加提案された助役の選任同意など二件をあわせて五十一件でした。一方、議員提出議案は、二件でした。

その主なものとしては、海の少年自然の家や、小学校二校の新設に伴う工事請負契約の締結と、門司区太刀浦地区（右写真）の港湾機能を整備するために、公有水面埋立てに関する市長の意見について議決を求められたものなどでした。いずれも慎重に審議された後、すべて原案どおり可決されました。

#### 人事紹介

六月定例会で、次の方々が決まりました。〈敬称略〉

北九州市助役

小林 實

北九州市監査委員

榎本 隆一

笹尾川水利組合議会議員

塩川 弥八郎

意見を求められたので、異議ない旨を回答するもの

出願件数 四件

出願者 北九州市及び運輸省

場所 門司区新門司一丁目地先

及び白野江地先から田野浦地先に至る公有水面

総面積 一・二万二、六四六平方メートル



# 質疑 応答



## 安全防災施設は

**議員** 石油公団は、六月はじめに、白島石油備蓄基地建設について、安全性や防災面を含めて技術上問題はないと、福岡県と本市に伝えてきましたが、その配置計画や安全防災施設はどのようになっているかおたずねします。

**市長** 事務管理施設や用役施設、排水処理施設等は、風や波浪の少ない男島の南東海域に約十四ヘクタールの埋立て地を造成して配置することにしてあります。貯蔵船は埋立地と防波堤によって外海と完全にさえぎった約六十ヘクタールの泊地に八隻並列でドルフィンに係留し、防波堤で囲むという計画です。

安全防災施設については、消防庁、運輸省から運用基準が出されており、それにしたがって設計されます。

例えば、タンクの強度等の設計条件は、自然条件に十分に耐えられるもので、二重殻構造とし、二重殻内は水で満たすこと、第一次、第二次の防油堤を設置すること、石油貯蔵タンクの空間部には不燃性ガスを封入すること、防火消火

六月三十日から三日間、本会議で十人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政一般に対する質問を行いました。その中から主なものを取り上げました。

## 平水区域の拡大を

—地場企業の育成に—

設備を完備すること、中央監視制御施設で集中管理することなどの運用基準が設けられています。

**議員** 白島の石油備蓄基地の建設が始まれば、石材、砂利、鋼材等を運ぶため、市内の運搬業者が参加することになると思われます。しかし、これらの業者の所有している船の規模や乗組員の資格免許で航行できる平水区域には、白島は含まれておりません。

三十八年にこの区域が設定されて以来、船の性能や安全性は格段に向上しています。

この際、地場企業育成の立場から、これらの業者の所有する船が、白島まで航行できるように、平水区域の拡大を関係機関に働きかけるべきではありませんか。

**市長** 平水区域の拡大については、地場の運搬業者を育成する立場から、九州海運局に要望しています。今後とも緊密に連絡をとりながら、平水区域の拡大について協議をしていきたいと考えています。

## 雇用対策の成果は

**議員** 雇用確保を目的とした産業振興のため、経済局に企業立地推進本部を設置したり、雇用問題連絡委員会による市内雇用動向調査が行われたりしていますが、雇用の維持拡大の上でどんな成果が上っていますか。

**市長** 雇用の拡大については、日常業務の中で常に配慮しています。

例えば、戸畑区沖台から若松区の二島工場団地に八社が移転しましたが、この移転により、五十六人の雇用増加が果されました。

また、東京製鉄(株)が二島に圧延工場を完成する五十七年には二百三十人の雇用増加が図られます。

さらに、白島の石油備蓄基地についても、かなりの雇用増加が期待されています。

## 今後続ける

### 水資源開発

**議員** 上水道の一日最大配水量の記録は、五十二年八月の五十二万四千トンであり、現在の給水能力六十万九千トンでも、まだ十分にゆとりがあります。

ところが、遠賀川河口せきや山国川取水工事の完成により、五十八年三月には、給水能力は七十六万九千トンになります。

これでは、水が売れ残り、過剰設備投資となりませんか。

**水道局長** 今後経済動向がどうなるか、また、一昨年の渇水によ

る節水意識がいつまで続くかという問題がありますが、水洗化の普及が進み、ある程度は需要が見込まれると思います。

ただ、最近の水資源開発は、十年、二十年と非常に長い期間を要します。また、多目的による開発が進められ、国、県が事業主体となるものが多くなっています。

このため、今、すぐに水が欲しいと言っても、そのとおりになるわけではありません。

したがって、水資源開発については、今後とも積極的に取り組んでいくつもりです。

**議員** 拡張事業のための設備投資が起債や長期借入金を増大させています。

このため、五十三年度における支払利息は、給水収益の二十八パーセントを占めています。今後、急速に財政を圧迫し、料金値上げにつながるのではありませんか。

**水道局長** 拡張事業には相当な経費がかかりますが、本市の場合



遠賀川河口せき

国の補助金と起債だけで賄っており、市の金は使っていません。

今後、工事費の増加に伴い、起債に対する償還金も長期的には増加し、水道財政に大きな影響を及ぼすと思われます。

しかし、なんでも料金にかぶせればよいというのではなく、合理的な経営に努めるとともに、国に対しては、補助金の増額や起債の有利な条件を求めていきたいと考えています。

## 下水道の整備を

—遠賀川流域—

**議員** 福岡県が発表した環境白書によれば、本市上水道の半分以上を頼っている遠賀川の水质は、流域市町村の生活排水などによって、汚濁が進んでいると報告されています。

水质保全を図るには、早急に流域下水道を整備する必要があると考えますが、いかがですか。

**市長** 遠賀川の流域下水道の整備については、かねてから県下市長会などを通じて、県に対し、整備計画を早期に策定するよう要望を行っています。

県においても数年前から、遠賀川流域下水道の調査費を計上して計画の策定に取り組んでおり、おおむね原案ができあがっています。

現在、県と関係市町村との協議が進められているところですが、本市としては、一日も早く、流域下水道が具体化するよう、最大限の努力をしていく考えです。



### 基本計画を早く

#### 小倉駅前再開発

議員 百万都市の玄関口である小倉駅前の周辺地区再開発基本計画は、今年度内に作成されると聞いています。

関係住民の間に計画を急げとの声が多いが、どのように考えますか。

市長 再開発計画は、道路、公園などの公共施設の配置計画や建物の用途、配置などを盛り込んだ基本計画を作成し、これをもとに各地区ごとの詳細な計画を作っていくという手法で行っていきます。

したがって、小倉駅前周辺の再開発についても、今年度は調査、研究を行い、将来の方向づけをする基本計画を作成し、翌年度に駅前の街区ごとの詳細な計画を作る運びになっています。

また、作成期間の短縮については、再開発に対する地元の意欲が非常に高まっているため、できるだけ努力いたします。



再開発が待たれる小倉駅前

議員 小倉駅前地区の再開発計画を作成するために、委員会を発足させると聞いていますが、どのようになっていますか。

市長 この委員会は、学識経験者と行政機関の代表で構成し、八月には発足させたいと考えています。

また、委員会に住民の意見が十分に反映されるように、代表者の方に積極的に意見を述べていただく機会を作っていきます。

### 風水害危険地域の

#### 解消を

議員 本市では、風水害危険か所として、今年も四十五か所が指定されています。この危険か所の大部分が数年前から指定を受けたものです。中には指定後十年以上も経過したものもあります。

年次計画を立て、危険か所の解消に取り組むべきではありませんか。

市長 急傾斜地対策としては、

議員 河川、海などの水質汚濁や赤潮発生の原因物質であるリンを減らすため、全国各地でリンを含む合成洗剤を追放する運動が広がっています。

本市では、どのように取り組むお考えですか。

市長 本年五

### 有リン洗剤を追放せよ

五月二日には学校などの公共機関に対し、有リン合成洗剤を使わないよう、要請文を出して

月に、福岡県から瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく「リン削減指導方針」が公表されました。

本市では、この方針に基づいてリンを減らしていくために、関係

国の補助事業で福岡県が行う急傾斜地崩壊防止制度がありまして、本市は他の地域よりもかなり多くの指定を受けて、急傾斜地の崩壊防止工事がなされています。特に門司区では、多くのか所が解消されています。

また、河川対策としては、都市小川川の制度があつて、市が工事を行い、これに対して国が高率の補助をすることになっています。これらの制度によって、かなりの危険か所の解消ができてきたと思います。

危険か所に指定後十年以上も経過したものがありますが、これは放置しているわけではありません。三十九年に指定された志井川は、今日まで逐次改修を行ってきていますが、区画整理事業とも絡んでいますので、長期間を要しています。四十二年に指定された門司区庄司町の急傾斜地崩壊危険か所についても、今日まで継続して工事を進めています。本年度まで

局が集まって構成する、「北九州市合成洗剤対策会議」をつくって、石けんや無リン洗剤を使うように指導、啓発をしています。

五月二日には学校などの公共機関に対し、有リン合成洗剤を使わないよう、要請文を出して

指導をしています。今後は、有リン合成洗剤の追放とあわせて、リンを含まない合成洗剤も、その使用について適正な指導を行っていく考えです。

の進捗率は五十八パーセントになる見通しです。今後とも危険か所解消のために努力したいと思います。

### 都市高速道路計画の見直しを

議員 北九州都市高速道路の整備計画は、五十二年の計画変更により、総事業費は千四百八十億円に増額され、また工期も六十年で延長されました。

しかし、今後の経済情勢を考えた場合、建設資材費、用地補償費、環境対策費などの高騰が予想され、これに伴い工期にも問題が生じてくると思います。速やかに現行の計画を見直すべきではないでしょうか。

市長 今後も物価は、現在のまま横ばいするとは考えられず、事業費の増加は当然考えられるところです。

このため、従来から国に対して、低利な貸付金の増額を要望し、今年度この要望を実現することができました。また、事業計画や工法の見直し、それに高速道路公社の一層の企業努力などにより、建設費の増大を最小限にとどめたいと考えています。

なお、事業計画の全面的な見直しについては、今年度中に日明ランプから篠崎北ランプまでの一次供用区間が開通しますので、開通後の状況をみて判断したいと考えています。

議員 当局の資料によれば、一次供用区間の自動車通過台数の予

測は一万六千台、料金は百五十円程度とされています。

この計画でいけば、料金収入は一か月当たり約七千二百万円となりますが、建設費などの元利償還を考えた場合に採算上の問題はありませんか。



建設が進む都市高速道路

市長 料金は、建設費などを約三十年以内に償還できることを基準に決定することになってい

しかし、一次供用区間は、短い距離であるため、利用台数も少ないことが予想され、この区間で採算性を考えることはできません。このため、採算性については、一次供用区間と次期供用区間（篠崎北から若園間と東港地区）を加えた区間を単位とした料金をもとに考えていきます。

なお、次期供用区間が開通した時の料金は、物価などの動向を考えなければなりません。現在、三百五十円程度になるのではないかと思います。



### 改造・入居に配慮を

#### ―身障者用住宅―

**議員** 現在、身体障害者福祉対策の一環として、市営住宅の空き家を改造して身体障害者住宅がつけられています。

改造が、入居する一戸だけに限られているため、町内の集まりなどの際に不便をきたしています。同じ棟の一階部分だけでも、車椅子で自由に往き来できるように、改造時に配慮すべきではありませんか。

また、持家に住んでいても、長い階段があるなどで、日常生活の面で支障をきたしているような特別な事情がある場合、身体障害者住宅に入居を認めるべきだと思いますが、あわせておたずねします。

**市長** 一階部分全部について改造をするということは、工事施工が非常に難しいことや、かなりの経費がかかるなどの問題があり、現在のところ困難ではないかと考えます。

また、持家に住みながら、身体障害者住宅に入居を希望される場合は、実情を十分に調査した上で、ケースバイケースで対処したいと思います。

### 宅地防災融資制度の

#### 活用を

**議員** 本市では、毎年各所でがけ崩れが発生しているにもかかわらず、宅地防災工事資金の融資制度があまり利用されていません。風水害危険か所の大部分は民有

地であり、災害防止のためには、この制度の利用が強く望まれます。

市民が手軽に利用できるようなめんどろな手続きや融資対象を改善して、制度の活用を図るべきではありませんか。

**市長** 四十七年にこの融資制度が発足して、五十四年までの間に百四十六件の融資を行っていま

融資制度ですから返済能力の点あるいは防災に対する意欲の問題が絡んできますので、借りやすくしても利用者がすぐに増えるというものでもないと思います。

しかし、せっかくこの制度がありますので、活用するようPRや勧奨に努めていきたいと思えます。内容の改善についても今後取り組んでいきたいと思えます。

### 商業近代化計画を急げ

**議員** 近代化された大型店の進出で地元商店街は大きな影響を受けていますが、新・新中期計画で取り上げている、商業近代化計画の策定構想とモデル商店街の指定事業は、どのように進んでいますか。

**市長** 商業近代化計画は、五十五・五十六年度の二か年計画で策定する考えです。

そのため、学識経験者十八人で構成した商業近代化委員会を四月に発足させています。いままでに、二回の委員会を開いています。本市では、第三次産業の流通面、商業面が非常に弱

ということから、抜本的に商業のテコ入れをするため、その具体的な方策や将来のビジョンについて、この委員会に諮問しています。



八幡東区中央町商店街

また、モデル商店街の指定については、戸畑駅前商店街と八幡東区中央町商店街を対象にして、近代的な商店街づくりのために、関係者と協議中です。

五十五年度は二か所ですが、将来は各区にも、モデル商店街やモデル市場などを指定していく考えです。

### 市営住宅へ転用を

#### ―企業空き住宅活用―

**議員** 本市は、工業都市の性格から、シンナーの貯蔵や取扱いに ついては、十分注意が払われているところですが、最近、企業所有の空き住宅が、シンナー遊びの場所として使用されていることが明らかになりました。

これは、企業の空き住宅の管理方法に問題があると思われませんが、どのような指導を行っていますか。

**消防局長** 企業の空き住宅が、シンナー遊びの場所や、不法な危険物の貯蔵場所として使用されることを防止するため、随時、立ち入り検査を実施していますが、現在まで違法貯蔵の事例はありません。

また、空き家を所有している企業に対しては、使用予定のないものの解体撤去、進入防止措置の強化、定期的な巡回による危険の排除などの管理の徹底を強力に指導し、要請をしております。

**議員** また、住宅対策の一環として、この空き住宅を市が譲り受けるか借用するなどして、市営住宅として転用していく考えはありませんか。

**市長** 現在の公営住宅法では、既存の住宅を借り受け、又は譲渡してもらい、市営住宅として使用することは認められていません。

また、現在企業の所有する空き住宅は、いずれも狭く、老朽化しており、これを市営住宅として使用することは、今日の市営住宅の水準からみて得策ではありません。

企業の空き住宅については、市の基本方針として、できるだけ整理を進めて、跡地に中高層の住宅を建てていただくか、遊休地の場合、市が購入し市営住宅を建設するということが対処してきています。

このようにして市営住宅を建設したケースは、四十五年度から五十四年度までの間に、一千七百一

戸となっています。今後、この方針で積極的に取り組んでいきたいと思えます。

### ホタルのすめる環境に

#### ―小倉野川の改修―

**議員** 小倉北区の小倉野川では、最近になって周辺の下水道施設が普及し水質もかなり良くなってきたため、約二十年ぶりにホタルが生息するようになりました。そこで、今後計画されている河川改修工事にあたって、このホタルが死滅しないよう、護岸工法の見直しをする考えはないかおたずねします。

**市長** 市は、新・新中期計画で、ホタルやコイがすむ美しい自然にするため、河川環境の保全を掲げています。

また、地元住民の間でもホタルの保護の気運が盛り上がりつつあるので、一つのテストケースとして可能な場所については、一部の区間でホタル護岸の工法を採用していきたいと思っています。

**議員** ホタルを保護増殖するために、農事センターでの養殖を考えてみてはどうですか。

**市長** 農事センターは、丘陵地で水路がないため、ホタルを自然条件の中で育てるということとは不可能です。

しかし、八幡西区の石坂は、水路などの状況からホタルの生育に適しているため、将来、都市環境保全事業を実施するなかで、ホタルの養殖を取り上げられることを検討したいと思えます。